

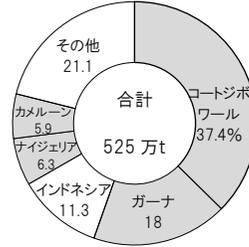
3 特定の輸出品に頼るアフリカの経済

○輸出用に作られる農産物

輸出用の作物の栽培

- ギニア湾岸の国々:()の生産量が多い
- ケニア:茶の栽培
- エチオピア:コーヒーの栽培
- 重要な輸出品として国の経済を支える

<カカオ豆の生産国(2018)>



○進む鉱産資源の開発

アフリカの資源:()に恵まれる

- 南アフリカ共和国:金、(**)など
- ボツワナ:ダイヤモンドなど
- ザンビア:銅など
- ナイジェリア・アンゴラ:外国企業と共同開発した原油や天然ガスなど

※()とは、地球上に存在する量が少ないか、取り出すことが困難な金属のこと

○モノカルチャー経済の課題

(*)とは、特定の農作物や鉱産資源の生産・輸出に依存する経済のこと

<アフリカ各国の主な輸出品>

国	輸出品	輸出額 (億ドル)
コートジボワール (2017)	カカオ豆	27.9
	天然ゴム	6.6
	その他	43.6
ザンビア (2018)	銅	75.2
	その他	24.8
ナイジェリア (2018)	原油	82.3
	液化天然ガス	9.9
	その他	7.8

〔課題〕

- 輸出品の種類が少ないと、国の収入が安定しない
- 農産物や鉱産資源は、加工されずに安い価格で輸出される
- 外国企業の進出により、その土地で暮らしていた人々の土地が奪われる
- ()などの取り組みが世界で広がる
- ※()とは、生産物が低い値段で取引されている人々に対し、公正な価格で取引を行う貿易のこと